

トウモロコシ用除草剤「デュアル乳剤」の 効果的な使い方について

日本チバガイギー(株) アグロテック事業部 営業企画部

坂下 洋子

1 はじめに

デュアル乳剤は、スイスのチバガイギー社によって開発されたアセトアニリド系除草剤メトラクロールを有効成分として含む畑作除草剤です(表1)。

他にメトラクロールを含む除草剤としてはゲザノンフロアブルとコダール水和剤・細粒剤があります。デュアル乳剤は既に販売を開始して8年以上を経過し、酪農家の方々の間にも徐々にそのイネ科、カヤツリグサ科の雑草に対する優れた効果や抑草期間の長さなどが知られてきています。

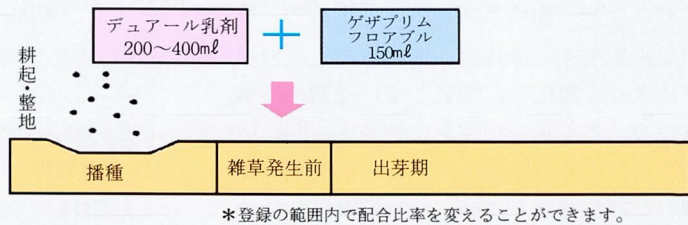
一口に「トウモロコシ用除草剤」と言っても、畑の状態、気候、肥料などによって、各酪農家の要望や問題は異なります。

ここでは強害雑草などを取り上げながら、効果的なデュアル乳剤の使い方をご紹介します。

表1 デュアル乳剤登録票ラベル

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当たり		本剤およびメトラクロールを含む農薬の総使用回数	使用方法	適用地帯
				薬量	希釈水量			
トウモロコシ 飼料用 トウモロコシ	畑雑地 一年生草	播種後 発芽前 (雑草発生前)	砂 壤 土	200 g	70 ℓ	1 回	全面土壌 散布	全 域
	畑イ 地ネ 一科 年雑 生草	本葉1~2葉期 (イネ科雑草 (2葉期まで))	埴 土	400 ml	100 ℓ			北海道

土壌処理



生育処理 (北海道のみ)

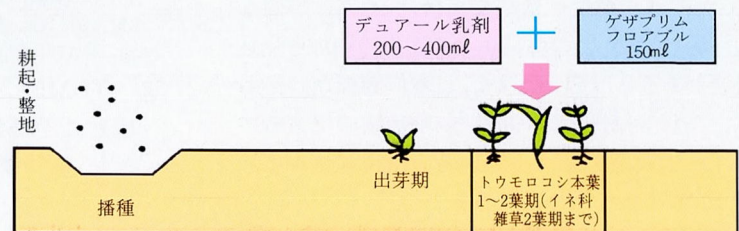


図1 デュアル乳剤の標準的な使い方

2 「デュアル乳剤」の使い方

標準的な使い方として、播種後、発芽前（雑草発生前）の土壌処理とトウモロコシ1～2葉期ころの生育期処理（北海道地区）とがあります。いずれも広葉雑草（スベリヒユ、アカザなど）に強い殺草効果を示すゲザプリム 50 水和剤またはゲザプリムフロアブルと組み合わせて使います。それぞれの特長を生かした混用散布により、広範囲の雑草が防げるわけです。

さらに、デュアルの土壌処理効果とゲザプリムの茎葉処理効果を生かし、播種後、発芽前にデュアルで土壌処理し、雑草の発芽状況を見た上で2～4葉期までにゲザプリムをその発生量に合わせて散布する体系的処理方法もあります(図1)。



写真1 デュアル乳剤+ゲザプリム水和剤 散布52日後



写真2 A乳剤+ゲザプリム水和剤 散布52日後

表2 飼料作物除草剤比較試験

(平成6年8月、雪印種苗(株)宮崎試験農場)

薬剤名	使用量	効果	トウモロコシ 害
デュアル乳剤 + ゲザプリム水和剤	250ml+150g	大	-
A剤 + ゲザプリム水和剤	250ml+150g	中	-

- 注) 1. トウモロコシ播種：平成6年4月26日
 2. 薬剤散布月日：平成6年4月26日(土壌処理)
 3. 調査方法：平成6年6月17日(散布52日後)に観察調査した。
 4. A乳剤+ゲザプリム水和剤の区では散布40日後くらいからメヒシバ等の雑草がみられたが、デュアル乳剤+ゲザプリム水和剤の区では散布52日後でもメヒシバ等の雑草をよく抑えており、残効性の長さが確認できた。

3 特長 — 長い抑草期間

デュアルとゲザプリムの混用散布は発生雑草の種類によって薬剤の混合比を決められるため、個々の畑にあった散布が可能で経済的です。

防除困難なツクサに対しても、慣用剤に比べより優れた効果を示します。また、デュアル+ゲザプリムの抑草期間が長いことは多くのユーザーや比較試験でも確認されています(表2はその一例、写真1, 2参照)。

4 適用雑草イチビと対象作物 ソルガムへの適用拡大

ゲザノンフロアブルはデュアルとゲザプリムのそれぞれ2つの有効成分を含んでいるため、イネ科にも広葉にも効果があります。従来より、播種前(雑草発生前)から生育期(トウモロコシ2～4葉期)まで広い適期幅を持つ除草剤として親しまれてきました。現在、更に適用雑草にイチビを、対象作物にソルガムを加えるべく登録申請中です。イチビが多発するところやトウモロコシに加えてソルガムも作付けしている酪農家の方々には朗報だと思います。

なお、デュアル乳剤の資料請求、お問い合わせは下記にお願いいたします。

日本チバガイギー(株) 営業企画部

TEL 03-3453-5252